

株主の皆様へ



森下仁丹株式会社

第73期中間事業報告書

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

証券コード：4524

## ごあいさつ

株主の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

ここに当社グループの第73期中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 事業の概況

当中間連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）におけるわが国経済は、工業生産や輸出を中心に持ち直しの動きがつづいているものの、企業の設備投資の減少、雇用・所得環境の厳しさを背景とした個人消費の弱まり、円高による影響も懸念される等景気の本格回復には至っておりません。

当社グループの属する健康関連業界は従来より景気の影響を受けにくい業界といわれており、中高年を中心とした健康意識の高まりも持続しているものの、個人消費の低迷及び物価の下落に伴う消費者の価格選考意識の高まり等当社グループを取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような環境の中で、当社グループは ①縮小均衡の打破 ②ブランドの拡大と育成 ③顧客指向の徹底を目指す、ヘルスケア分野並びにカプセル受託分野において積極的な施策展開を実施いたしました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は3,746百万円（前年同期比6.4%減）となりましたが、生産コストダウンを中心とする売上総利益率の改善、販売促進・広告宣伝費を含む全社的な経費削減に取り組んだことにより営業利益81百万円（前年同期比185.2%増）、経常利益77百万円（前年同期比114.2%増）、中間純利益67百万円（前年同期比239.0%増）となりました。

健康食品の通販ビジネスを中心としたヘルスケア分野においては、前年同期比15%増と好調な主力商品「ビフィーナ」及びダイエット商品が順調に伸びを示したものの、競合が激しい青汁等その他商品群は概して苦戦を強いられました。

国内小売店向ビジネスにおいては、メディカルケア分野ではガラス体温計の廃番の影響が大きかったものの「メディケア」シリーズのウイルス関連商品の新規販売がカバーし、オーラルケア分野をあわせて販売額はほぼ前年並みとなりました。

一方、カプセル受託分野では海外からのプロバイオティクス及び機能性カプセルの受託が好調だったものの、フレーバー、乳業及び医薬品関連の受託が落ち込み、円高の影響もあり販売額は前年を大きく下回る結果となりました。

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較し86百万円減少し、10,960百万円となりました。

これは、補助金の入金等による未収入金の減少369百万円と在庫・売上債権の増加179百万円などによるものです。



代表取締役社長  
村村 純一

一方、未払費用42百万円の減少や借入金の返済が進んだこと等により、負債合計は前連結会計年度末と比較し211百万円減少し、3,714百万円となりました。

また、純資産の部では、その他有価証券評価差額金が158百万円増加したことにより、純資産合計は前連結会計年度末と比較し124百万円増の7,245百万円となりました。

### 【キャッシュ・フローの状況】

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下資金という）は1,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は23百万円（前年同中間連結会計期間は30百万円の収入）となりました。主な内訳は、税金等調整前中間純利益76百万円、減価償却費166百万円、売上債権の増加109百万円、たな卸資産の増加70百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

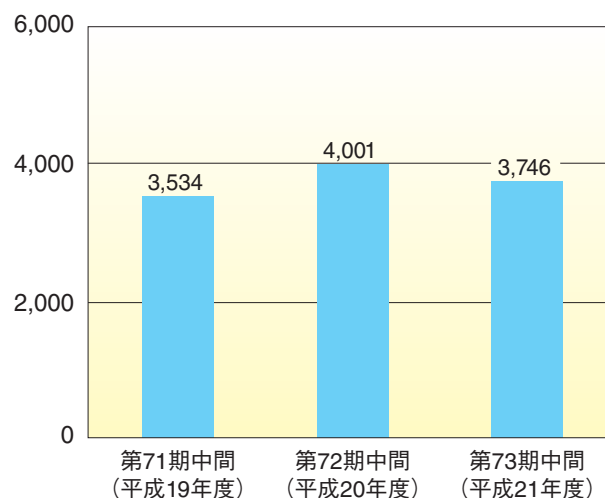
投資活動の結果増加した資金は39百万円（前年同中間連結会計期間は399百万円の支出）となりました。主な内訳は、補助金収入328百万円と有形固定資産の取得による支出201百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は190百万円（前年同中間連結会計期間は142百万円の支出）となりました。これは配当金の支払100百万円と長期借入金の返済90百万円によるものです。

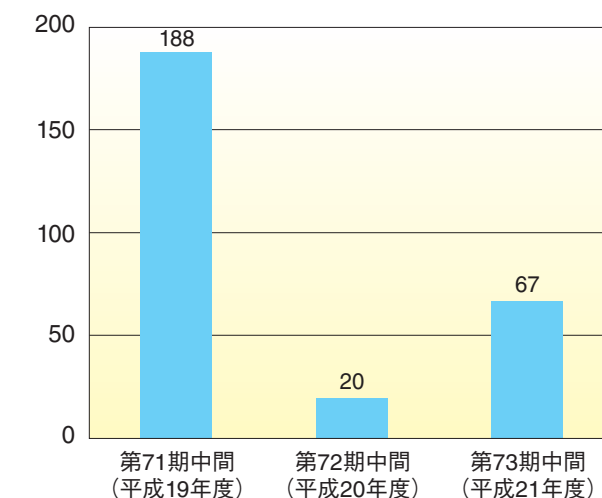
## ◆売上高（連結）

（単位：百万円）



## ◆中間純利益（連結）

（単位：百万円）



## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	当中間連結 会計期間 (平成21年9月30日現在)	前連 結年度 (平成21年3月31日現在)		当中間連結 会計期間 (平成21年9月30日現在)	前連 結年度 (平成21年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>					
I 流動資産	3,872	4,114	I 流動負債	1,866	1,981
現金及び預金	1,878	2,005	支払手形及び買掛金	987	1,006
受取手形及び売掛金	792	683	短期借入金	120	150
商品及び製品	556	527	未払法人税等	18	26
仕掛品	289	243	返品調整引当金	27	25
原材料及び貯蔵品	203	208	賞与引当金	125	111
その他	158	450	その他流動負債	588	661
貸倒引当金	△ 6	△ 4	II 固定負債	1,848	1,945
II 固定資産	7,087	6,932	長期借入金	810	870
(1)有形固定資産	5,744	5,804	退職給付引当金	292	285
建物及び構築物	2,809	2,877	繰延税金負債	535	531
機械装置及び運搬具	670	670	その他	210	258
土地	2,025	2,025	<b>負債合計</b>	<b>3,714</b>	<b>3,926</b>
建設仮勘定	21	5	<b>(純資産の部)</b>		
その他固定資産	217	224	I 株主資本	7,207	7,241
(2)無形固定資産	158	113	資本金	3,537	3,537
(3)投資その他の資産	1,184	1,015	資本剰余金	963	963
投資有価証券	1,064	896	利益剰余金	2,838	2,871
その他投資等	127	126	自己株式	△ 131	△ 131
貸倒引当金	△ 7	△ 7	II 評価・換算差額等	38	△ 120
			その他有価証券評価差額金	38	△ 120
<b>資産合計</b>	<b>10,960</b>	<b>11,047</b>	<b>純資産合計</b>	<b>7,245</b>	<b>7,121</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>10,960</b>	<b>11,047</b>

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
		(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)
I 売上高		3,746	4,001
II 売上原価		1,822	2,010
売上総利益		1,923	1,990
III 販売費及び一般管理費		1,841	1,961
営業利益		81	28
IV 営業外収益		9	16
V 営業外費用		14	9
経常利益		77	36
VI 特別利益		1	1
VII 特別損失		2	2
税金等調整前中間純利益		76	34
法人税、住民税及び事業税		11	11
法人税等調整額		△ 2	3
中間純利益		67	20

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
		(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		23	30
投資活動によるキャッシュ・フロー		39	△ 399
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 190	△ 142
現金及び現金同等物の増減額		△ 127	△ 512
現金及び現金同等物の期首残高		2,005	3,489
現金及び現金同等物の中間期末残高		1,878	2,976

## 会社概要（平成21年9月30日現在）

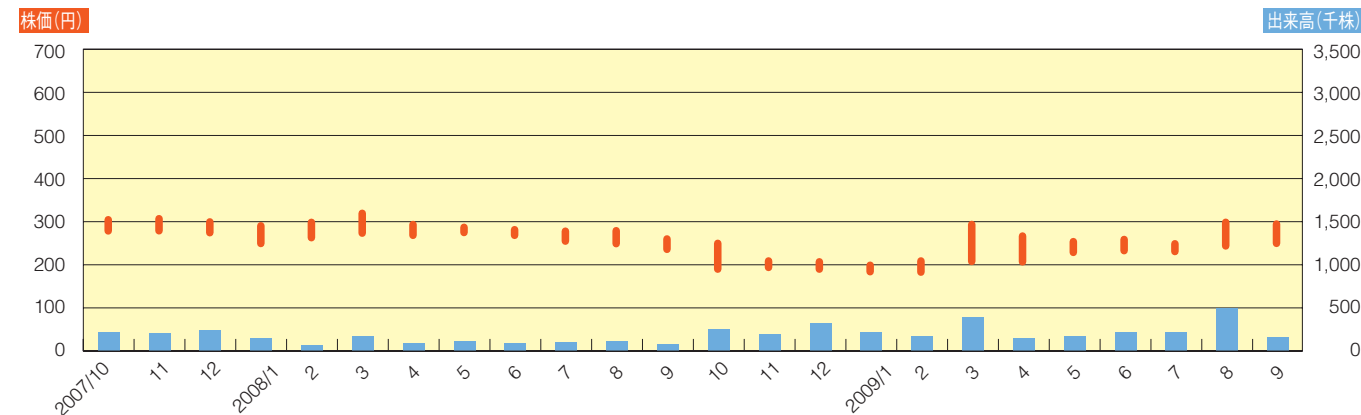
### 役員

代表取締役社長	駒村純一	監査役	渡邊俣治
取締役名誉会長	森下美恵子	監査役	澤田侑己
取締役	武貞文隆	常務執行役員	高田真一
取締役	木村雅則	執行役員	園井伸輔
監査役(常勤)	高橋優夫		

(注) 監査役のうち渡邊俣治、澤田侑己の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

商号	森下仁丹株式会社 MORISHITA JINTAN CO., LTD.		
資本金	35億3,740万円		
事業の内容	医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、食品および雑貨等の製造販売		
事業所および工場			
本社	大阪市中央区玉造一丁目2番40号	電話	(06) 6761-1131(代表)
大阪工場	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話	(072) 800-1040
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話	(0749) 48-7370

### 株価および出来高推移



## トピックス

### 《新製品のご紹介》

第73期11月発売新製品

森下仁丹創業116年を記念した新「仁丹」

ジンタンイチイチロク

### 「JINTAN116」—2009年11月6日（金）関東地区先行発売—

森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：駒村純一）は、創業（1893年）116周年を記念して「JINTAN116（ジンタンイチイチロク）」（価格：300円〈税込〉）を2009年11月6日（金）より、発売しました。

銀粒の「仁丹」は、発売以来日本だけでなく世界で支持されるロングセラー商品で、16種類の生薬の力で息や気持ちを爽やかにする商品として愛されてきました。この「仁丹」が創業116年目の11月6日（金）に、銀のペールを脱ぎ、カプセルタイプの新仁丹「JINTAN116」として新しく誕生しました。

「JINTAN116」は、7種類の生薬を配合したリキッドを、銀粒の「仁丹」以来、弊社が培ってきた独自の技術であるシームレスマイクロカプセル（直径3.5ミリ）に閉じ込めました。口の中でプチッとほじけ、気になる息を瞬時にリフレッシュする口中清涼剤です。味はほんのり甘苦く、後味すっきりの「コクにが」に仕上げました。一般の携帯タブレットとは一線を画す、「気分不快」や「口臭」も改善する「医薬部外品」です。ターゲットはお酒を飲む機会も多く、ストレスを抱えがちな40代ビジネスマンで、パッケージもスタイリッシュに、アラフォー世代の「健康な息づくり」を応援します。

既存の銀粒仁丹も引き続き併売いたします。

#### 【商品特徴】

##### ①新食感のマイクロカプセルを採用

銀粒仁丹は、生薬の丸剤を銀でコーティングしていましたが、「JINTAN116」では、液体を包むために開発された森下仁丹独自の「シームレス（継ぎ目のない）カプセル」を採用しています。

##### ②7種類の生薬配合

メントール、ケイヒ、チョウジ、ウイキョウ、アセンヤク、カンゾウ、ペパーミントを配合しています。シームレスカプセルで包むことで、生薬独特の匂いを軽減しています。

味はほんのり甘苦く、後味すっきり「コクにが」です。

##### ③直径3.5ミリの極小カプセル

「JINTAN116」は、直径3.5ミリの極小カプセルです。1回3粒、口に含んで噛めば、瞬時に息をリフレッシュします。

#### 「JINTAN116」



#### 【製品概要】

商品名	JINTAN116
価格	300円（税込み）
内容量	1袋（100粒入り）
発売日	2009年11月6日（金）



## 株主メモ

事業年度末日	3月31日
剰余金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	6月中
公告の方法	電子公告 ( <a href="http://www.jintan.co.jp">http://www.jintan.co.jp</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告に公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
金融商品取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第二部 株式会社東京証券取引所 市場第二部
株主名簿管理人 特別口座口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777